

## 公立大学法人横浜市立大学附属病院 保険調剤薬局整備・運営事業 公募型プロポーザル特定結果について

横浜市立大学附属病院医学・病院企画課医学・病院企画担当では、「公立大学法人横浜市立大学附属病院 保険調剤薬局整備・運営事業」について、公募型プロポーザル方式で優先交渉権者を特定しました。

令和3年6月9日の提案書提出期限までに、6者の応募があり、令和3年6月23日に「公立大学法人横浜市立大学附属病院 保険調剤薬局整備・運営事業公募型プロポーザル評価委員会（以下、評価委員会）」を開催し、提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。

評価委員会での評価結果を受け、附属病院第一契約審査会（令和3年6月28日）にて、契約締結に係る優先交渉権者及び次順位者を特定しました。

### 1 契約締結に係る優先交渉権者

日本調剤株式会社

※優先交渉権者に辞退があった場合には、次順位者である株式会社アインホールディングスと交渉することとします。

### 2 評価結果

順位	提案者	評価点数
1	日本調剤株式会社	623.81点/700点
2	株式会社アインホールディングス	604点/700点
3	C者	410.06点/700点
4	D者	336.18点/700点
5	E者	331.35点/700点
6	F者	305.84点/700点

※評価委員は、7名（全員出席）

※評価委員会事務局：医学・病院企画課 医学・病院企画担当

### 3 評価基準

評価項目	評価内容	配点
実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業者の保険薬局運営に関する実績は十分か。</li><li>・事業者の経営状況は良好か。</li><li>・附属病院の敷地内保険薬局設置に関する方向性を十分に理解しているか。</li><li>・事業を円滑に実施するための体制が整えられるか。</li><li>・収支計画は事業遂行時に起こりうるリスクを想定し、十分な予防対策と発生時の対応を事前に検討しているか。</li></ul>	5点
計画・運営	<ul style="list-style-type: none"><li>・建設計画は妥当か。</li><li>・薬局の開設時期は適当か。</li><li>・事業収支計画は妥当か。</li></ul>	5点

薬物療法提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な薬学管理のニーズに対応可能な薬剤師の配置が可能か。</li> <li>・がん治療に関する専門・認定薬剤師資格を有する薬剤師を常勤で配置しているか。</li> <li>・麻薬の調剤応需体制を整えているか。</li> <li>・年中無休・24時間営業が可能か。</li> <li>・個室での服薬指導が可能か。</li> <li>・相談窓口はプライバシーに配慮した構造であるか。</li> <li>・混雑緩和や待ち時間短縮に対する工夫がされているか。</li> <li>・その他高度薬学管理機能に関する提案があるか。</li> </ul>	15点
医療機関及び他保険薬局との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内薬局利用者のうち、地域のかかりつけ薬局へ移行可能な場合については勧奨し、かかりつけ薬局へはFAX等で情報提供できる仕組みを構築できるか。</li> <li>・附属病院のカンファレンスやチーム医療にチームとして参加できるか。</li> <li>・処方内容の提案や副作用のフィードバックなど、医療機関と連携が図れるか。</li> <li>・附属病院など専門的な医療の提供を行う医療機関に対し、患者の薬剤の使用状況について報告できる体制を整えることが可能か。</li> <li>・附属病院が行う臨床研究への協力が可能か。</li> <li>・その他地域連携に対する提案があるか。</li> </ul>	15点
地域医療への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師会（横浜市薬剤師会及び区薬剤師会等）への加入</li> <li>・無菌調剤室を整備し、地域の薬局との共同利用は可能か。</li> <li>・地域の薬局から薬剤在庫の確認や提供の依頼があった場合、適切に対処することが可能か。</li> <li>・附属病院と連携し、地域薬剤師へ高度・先進医療等に関する教育・研修を実施できるか。</li> <li>・研修室の面積や設備等はどうか。また、使用料は適正か。</li> <li>・その他地域医療の向上に資する提案があるか。</li> </ul>	15点
災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市薬剤師会と横浜市が進める災害医薬品の循環備蓄等に協力が可能か。</li> <li>・災害時には附属病院が行う災害時医療（薬品の提供・薬剤師の附属病院への派遣等）が可能か。</li> <li>・その他災害や健康危機管理に対する提案があるか。</li> </ul>	10点
土地使用料	<p>・配点（15点）に当該提案使用料に対する最高提案使用料の割合を乗じて算出する。</p> $\text{土地使用料点} = (\text{提案使用料} / \text{最高提案使用料}) \times 15 \text{点}$ <p>（有効桁数は小数点以下第2位まで。第3位は四捨五入する）</p>	15点
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記以外に附属病院や横浜市立大学医学部、地域の医療機能向上に関する有効な提案があるか。</li> </ul>	20点
合計		100点

※評価委員1名あたりの配点：100点

※最大評価点（満点）：100点×7名＝700点